

# ロハス・メディカル

## Lohas Medical

vol.77  
2012年 2月号

Lohas Medical 編集/医師5人の合同編集委員会 発行/ロハスマテリアル

「治りたい」と「治したい」を  
もっともっと近づける、  
医と健康の院内フリーマガジン

年間  
特集

がん  
11

代替療法の  
正しい使い方。

好評  
連載中

- ずずかんの医療改革の「今」を知る
- 研修医が見た米国医療
- 医学と法律の常識・非常識
- 薬局の上手な使い方
- みちのくの大地から50年通用する医療を
- 病気とともに生きる
- 初めての介護保険
- ある透析患者の起業日記
- コンビニ受診大歓迎





すずかんの

## 医療改革の

## 「今」を知る

東洋医学に世界が注目。  
積極的に西洋医学との  
コラボレーションを！

第76回

今

回の特集にもあります  
が、この10年で、日本  
の医療は漢方を積極的に取り  
入れるようになってきました。  
私自身、関心を持って追いつ  
けているテーマでもあります。

平成13年に文科省主催「医  
学・歯学教育の在り方に関す  
る調査研究協力者会議」で初

めて示された医学教育  
モデル・コア・カリキ  
ュラム（教育内容ガイ  
ドライン）では、卒業

時までの到達目標とし  
て「和漢薬を概説でき  
る」ことが薬物治療に  
盛り込まれました。そ  
れが最新の平成22年改  
訂版では、「和漢薬（漢

方薬）の特徴や使用の現状に  
ついて概説できる」と、もう  
一歩踏み込んだかたちになっ  
ています。薬剤師国家試験で  
も、今ではほぼ毎年、漢方薬  
の問題が出されています。

こうして、今や大学病院な  
ど医学教育や最先端医療の場  
面では、漢方がかなり浸透し

ています。エビデンスも出  
きて、文科省から予算がつい  
ている研究もあります。比較  
的若い世代の医師や医療スタ  
ッフには自然と受け入れられ  
ているということです。

教育という面での今後の課  
題としては、例えば40歳代以  
上の医師らに漢方の知識をど  
うキヤッチアップしてもら  
うか、医師国家試験の問題にど  
う漢方を入れていくのか、と  
いったところでしょうか。

一方、民間病院では既に、  
広く東洋医学の考え方を西洋  
医学に融合させた「統合医療」  
を実践しているところも増え  
ています。例えば亀田総合病  
院では診療科目として「東洋  
医学診療科」が確立され、西  
洋医学の各科と有機的に連携  
しています。

また、私が注目しているの  
が「医食同源」の考え方。例  
えば、従来の栄養学では大差  
なく扱われる香味野菜のショ  
ウガとセロリは、漢方では体  
を温める・冷やすという観点

で対極に置かれます。チーム  
医療の一環として活躍してい  
る栄養サポートチーム（NS  
T）に東洋医学の専門家も参  
加し、コラボレーションを図  
ってはどうかでしょう。

ドイツなど欧米では、医療  
費削減の切り札として漢方が  
国家レベルで注目されていま  
す。ただ本来なら、歴史的に  
漢方に馴染みのある我が国こ  
そが、その流れをリードすべ  
きところですよ。エビデンスが  
あるものから積極的に、東洋  
医学を広く取り入れていくこ  
とが求められます。

医療現場危機打開・再建国会議員連盟幹事長  
民主党政策調査会副会長

鈴木 寛



すずき・かん ●通称すずか  
ん。1964年生まれ。慶應義  
塾大学SFC環境情報学部助  
教授などを経て、現職。教  
育や医療など社会サービ  
スに関する公共政策の構築が  
ライフワーク。